

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | 公表日 令和6年10月1日 | | | | |
|----------------|----|--|----|-----|--|--|
| コベルプラスジュニア浦和教室 | | | | | | |
| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 8 | 0 | 療育終了後に児童がブレイルームで遊ぶ際、怪我が起きないように座って遊ぶゲームを用意したり、スタッフが見守りを行うようにしている。 | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。 | 5 | 2 | | 利用定員に対しての職員数は満たしているが、急な職員の休みがある時に対応が難しいことがある。その時には他教室からヘルプを依頼して対応している。 |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 6 | 1 | 教室内には段差になる箇所は無く、エレベーターも稼働している | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 7 | 0 | 朝が夕方のお子様がいらない時間に清掃を行っている | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 7 | 0 | クールダウンの為の個室利用を認めている | クールダウンの個室利用については、その時間帯の利用者の人数が多い場合には対応できない事も想定される。 |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 6 | 1 | | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 7 | 0 | 毎年評価表アンケートを実施し、その内容を職員間で共有し、新しい気づきを得ている | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 7 | 0 | エリアマネージャーによる個別面談を年に1～2回実施している | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 0 | 7 | | 外部評価は行われていない |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 7 | 0 | さいたま市や埼玉県が主催する研修会に参加し、他の事業所との交流も行っている | |
| 適切な支援 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 7 | 0 | その日療育を担当する際、児童の保護者に内容を紙面で公表している | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 7 | 0 | | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 7 | 0 | 指導員から日々療育の報告があり、朝礼の時間や日々のコミュニケーションの中で児童の情報共有を行っている | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 7 | 0 | | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 7 | 0 | | |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 7 | 0 | | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 7 | 0 | 他の先生方にアドバイスをいただいている・指導員同士で都度話し合っている・当日に情報共有が出来ない場合には申し送りノートを活用している | |

| | | | | | | |
|--|----|--|---|---|---|---|
| 援 の 提 供 | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 7 | 0 | 課題は月替わりで実施している・コベル本部から送られてくる教材だけではなく、現場の職員で考えた課題も実施している・運動イベントやSSTイベントなど教室独自の取り組みも行っている | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 7 | 0 | | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 7 | 0 | 振り返りを行い、共有ノートで引継ぎを行っている・毎朝の朝礼30分ほどを実施し、共有に努めている | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 7 | 0 | 支援終了後に必ず実施は難しいが、翌日の朝礼時には必ず報告会を行っている | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 7 | 0 | サービス提供実施記録票には、担当指導員が赤ペンで記録を残している | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 7 | 0 | 児童の療育時間に保護者と別室で個別面談を実施してモニタリングを行っている | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。 | 7 | 0 | | |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 6 | 1 | 子どもの思いに寄り添い共感する関わりをどの指導員も心掛けている | |
| 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 7 | 0 | | 急に開催の通知が来ると、人員に余裕がない場合は参加が難しいことがある |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 4 | 3 | 併用利用中の他事業所との情報共有、相談支援事業所との情報共有、学校の先生との連携など、保護者の要望に基づいて実施している | |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 6 | 1 | 学校へ送迎に行く事は無い | |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 5 | 2 | コベルプラス卒業生に関しては、連携を取って受け入れている | |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 3 | 4 | 主に小1～小3の利用者が多いので、移行支援にたどり着くケースは少ない | |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 1 | 6 | | 支援センターとの連携によりアドバイスを受ける事は無く、困り事があると市役所に相談する事が多いので、今後は連携を意識していきたい |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 1 | 6 | | |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 1 | 6 | | まだ参加したことがない |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 7 | 0 | 療育終了後の個別フィードバックの時間をいただいている | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 5 | 2 | 保護者向けの講演会のチラシを掲示して共有している | 今年度はまだペアレントトレーニングを実施していないので、今後検討したい |
| | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 7 | 0 | 契約時に担当者が説明を行っている | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 7 | 0 | | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 7 | 0 | | |

| | | | | | | |
|----------|----|--|---|---|---|--|
| 保護者への説明等 | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 7 | 0 | 教室長他指導員が全てに共有している | |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 | 0 | 7 | | 兄妹を含めたご家族で楽しめるイベントを引き続き開催していく |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 7 | 0 | 指導員から些細な情報共有も受け、教室長が対応している | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 7 | 0 | 月に一度、通信を発行している | |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 7 | 0 | 鍵のかかっている書庫に保管している・全職員が入社時に個人情報の取扱いに関する誓約書を会社と交わしている | |
| | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 7 | 0 | | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 1 | 6 | | 地域に開かれたイベントの開催予定はなく、利用者の皆様に向けた働きかけを今後も実施していく |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 3 | 4 | | 毎月の実施が出来ていないが。避難時の対応については職員間で共有している |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 2 | 5 | | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 6 | 1 | 利用開始時に書面にて保護者から共有を受けている | |
| | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 0 | 7 | | 食事提供は行っていない |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 4 | 3 | | |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 6 | 1 | | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 7 | 0 | 発生した場合には共有と検討を実施している | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 6 | 1 | | |
| | 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 7 | 0 | 契約時に説明し、同意を得ている | |